# 子育て日本一の宇治を

社会福祉法人理事長・前保育園長

# 能塚たえこ

のうづか耐子

プロフィール●京都府立大学文家政学部福祉学科卒業、右京病院医療ケースワーカー、くりくま保育園園長など歴任。現在、社会福祉法人栗隈福祉会理事長、社会福祉法人保健福祉の会監事、やましろ健康医療生協理事、京都保育運動連絡会副会長。

**12・9 宇治市長選に立候補を表明**

## 私の決意

宇治市民ネットのアンケートに
２０００通を超える市民の声が寄せられました。
「今年から（夫の）夏冬のボーナスがなくなりました。
子ども２人は学校にお金がかかる年齢、不安が沢山あります。」
「今年２月、宇治市に引越して来ましたが、子どもが保育所に
入れないまま、待機しています。今、本当に困っています。」
――みなさんの声を読んで、胸がつまりました。
私は、医療ケースワーカーと保育園長の40年間の経験を生かし、
雇用や暮らし、子育ての不安を軽くしていくために、遅れている
子ども医療費制度の拡大や高い国保料の引き下げ、地域経済の
活性化へ全力をあげます。
子育て日本一の宇治へ、〝福祉の心〟をもった新しい市政をつくります。
娘家族は、放射能被害で東京から子どもを連れて帰って来ました。
「即時原発ゼロ」が安心して子育てする道です。
みなさんとご一緒にがんばります。

能塚　たえこ

## 能塚さんはこんな人

### お母さんの声にこたえて保育所建設を実現！頼れるリーダー

畑中 富佐子さん

能塚たえこさんは、働くお母さんたちが保育所がなくて困っているとき、大久保地域での保育所建設運動を地域の人たちやお母さんたちと取組み、開園を実現させました。

当時、産休明け保育を実施している保育所は市内で公立一箇所だったのを、市役所と交渉して、民間園で初めて産休明け保育を実施するなど、能塚たえこさんは政策づくりも実行力も抜群、頼りになる人です。

保育園の秋の遠足